

清水病院経営計画（平成27年度取組状況）

資料1

取組分類	取組項目	計画内容	実施年度	平成27年度 目標	平成27年度 取組状況（中間）	平成27年度 取組結果	内部 評価	実施課	外部 評価	コメント	
【第一の柱】 「医療スタッフの 人材確保と育成」	医師の増員	常勤医師の増員	平成27年度～ 平成30年度	常勤医 3名増員	集中治療室稼働にあわせ常勤医 1名 の増員	集中治療室稼働にあわせ常勤医 1名 増員 常勤医師の増員に向けては、病院長 等による関係医局への訪問などを実施 (病院長：3大学述べ11回)	B	病院総務課	B	平成27年度の目標を達成していないとなる と、後年度にそのしわ寄せが来るため、更なる 取組が必要である。	
		初期臨床研修医の受入枠の 拡充	平成27年度	受入枠を 5名に拡大 初期研修医 1名以上 確保	県との調整により受入枠 5名に拡大 初期研修医 3名の受入が決定	県との調整により受入枠 5名に拡大 初期研修医 3名の受入が決定	A	教育研修・病院 事業管理室	A		
		指導医及び専門医の資格維持 及び取得の支援	平成27年度～	指導医・専門医の 資格取得・更新	各学会への参加の支援 (専門医資格取得試験受講者 3名)	各学会・研修会等への参加の支援 69名 延307件 専門医資格取得試験受講支援 3件	A	教育研修・病院 事業管理室	A		
		医学生修学資金貸与制度の 創設	平成27年度	貸与人数 4名	修学資金貸与制度を活用し 4名に貸 与	1年生 1名、4年生 2名、6年生 3 名計 6名の医学生に修学資金を貸与	A	教育研修・病院 事業管理室	A		
		医師の研究・技術向上の 支援	平成27年度～	研究制度の活用	制度活用 延12件	制度活用 延29件	A	病院総務課	A		
		シミュレーション機器の購入・ 充実を図る。	平成27年度	シミュレーション 機器の導入	各診療科に必要なシミュレーション 機器のヒアリング、デモ機による操 作研修を実施 必要な機器の選定（除細動器やシ ミュレーター用鉗子など）	心肺蘇生法トレーニングマネキン、 気道管理トレーナー、静脈注射シ ミュレーター、除細動器等を購入	A	教育研修・病院 事業管理室	A		
		医師事務作業補助者（医療 秘書）を 5名程度増員	平成27年度～ 平成30年度	医師事務作業補助 者の増員	H27. 3月 17名 30対 1体制 H27. 10月 23名 25対 1体制	27年度内に 6名の増員を行ったこと で、医療秘書の配置状況を、26年度 の30対 1から、25対 1まで引き上げ ることができた	A	医事課	A		
		リクルート活動の強化	関連医局との連携強化	平成27年度～	医局訪問	2大学の医局に計 6回の訪問を実施	病院長の訪問：3大学延べ11回実施 診療科長以上の訪問：4大学延べ14 回実施	A	教育研修・病院 事業管理室	A	
		幅広い人材募集・確保	医師や看護師の派遣紹介会社と契約を結び、全 国から幅広く人材を募集・確保する。	平成27年度～	契約の締結	4社の斡旋会社と契約締結 紹介件数 6件	5社の斡旋会社と契約締結 紹介件数 11件	A	教育研修・病院 事業管理室	B	取組は行われている が、採用実績が 0件で あるため、B評価である。 更なる取組をお願い したい。
		組織の設置	教育研修・病院事業管理室 の設置	平成27年度	教育研修・病院事 業管理室の設置	教育研修・病院事業管理室を設置	平成27年 4月 1日付にて教育研修・ 病院事業管理室を設置	A	教育研修・病院 事業管理室 病院総務課	A	
	女性医師・看護師等の 就労支援と離職防止	院内保育所の機能充実策の 検討	平成27年度～	機能充実策の検討	担当内で充実策を検討中	利用者増加を踏まえ、今後の運営に 係る方向性、充実策の検討を実施 (H29の委託契約更新に向け、H28中に 具体策を決定)	A	病院総務課	A		

取組分類	取組項目	計画内容	実施年度	平成27年度 目標	平成27年度 取組状況（中間）	平成27年度 取組結果	内部 評価	実施課	外部 評価	コメント															
回復期リハビリテーション病棟の機能強化	機能訓練室の設置	高齢化に伴いリハビリテーションによる早期対応が求められていることから、病棟機能の充実を図るため、平成27年度に機能訓練室を設置する。	平成27年度～	機能訓練室の設置	H27. 4月に機能訓練室を設置	機能訓練室を平成27年4月に設置	A	病院施設課	A																
	リハビリテーションスタッフの増員（再掲）	今後、リハビリテーションが必要な患者の増加が見込まれ、自院のみならず他医療機関からの患者受入の需要も高まることが予想される。リハビリテーション機能の充実を図るため、リハビリテーションスタッフを増員する。	平成27年度～	（再掲） リハビリスタッフ 6名増員	（再掲） リハビリスタッフ6名確保 リハビリ強化のため引き続き理学療法士、作業療法士の採用試験を実施（10月17日）	（再掲） 平成26年度の採用試験にて平成27年4月1日付で6名を採用 平成28年度以降の増員計画を新たに策定し、平成27年度実施の採用試験にて平成28年4月1日採用者を3名確保	A	病院総務課	A																
	地域包括ケア病棟の設置	他の医療機関からの転院も含め急性期後の患者受入、在宅復帰の支援、在宅患者の緊急時受入に対応できる医療体制を確保するため、地域包括ケア病棟を平成27年度に新設する。	平成27年度～	地域包括ケア病棟の新設	4 B病棟35床を地域包括ケア病棟として開設	平成27年4月から4 B病棟35床を地域包括ケア病棟として開設 病棟改修工事完成に伴い同年12月から4 A病棟に移転	A	医事課	A																
	地域ケアマネージャー室の設置	地域包括ケア病棟内に地域ケアマネージャー室を設置し、病院職員とケアマネージャーとの連絡、連携を密にし、在宅復帰に向けた支援を行う。	平成27年度～	地域ケアマネージャー室の設置	地域ケアマネージャー室を11月に設置予定	地域ケアマネージャー室を11月に設置	A	病院施設課	A																
【第三の柱】「地域連携の推進と安心・安全な医療の提供」	地域連携の推進	紹介率の向上 <table border="1" data-bbox="409 835 1133 953"> <tr> <td></td> <td>H27年度</td> <td>H28年度</td> <td>H29年度</td> <td>H30年度</td> </tr> <tr> <td>紹介率（%）</td> <td>51.0</td> <td>52.0</td> <td>53.0</td> <td>54.0</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率（%）</td> <td>87.0</td> <td>87.0</td> <td>87.0</td> <td>87.0</td> </tr> </table> 地域医療支援病院としての機能を維持・強化し、紹介率を向上させる。		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	紹介率（%）	51.0	52.0	53.0	54.0	逆紹介率（%）	87.0	87.0	87.0	87.0	平成27年度～	紹介率 51.0% 逆紹介率 87.0%	紹介率53.5% 逆紹介率85.7% (H27年8月末現在)	（再掲） (27年度実績) (26年度実績) 紹介率 54.1% (51.4%) 逆紹介率87.2% (85.4%)	A	医事課 地域医療支援室	A	
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度																				
	紹介率（%）	51.0	52.0	53.0	54.0																				
	逆紹介率（%）	87.0	87.0	87.0	87.0																				
	病診連携の推進	医師会との定期的な協議会の開催、オープンベッドの利用、地域連携パスの運用、研修会等の周知などにより、病診連携を推進する。	平成27年度～	協議会の開催	協議会を開催（6月19日） 清水医師会9名、当院医師等9名出席	協議会開催（6月19日） 清水医師会医師9名、当院医師等9名出席	A	地域医療支援室	A																
地域の医療機関との連携	地域の医療機関と連携を強化し、退院患者のケア情報や地域の介護・福祉施設等の状況など幅広い情報の交流に努める。	平成27年度～	関係機関との情報交換会の実施	清水病院医療・介護・福祉連携協議会を発足 第1回協議会を6月30日開催	清水病院医療・介護・福祉連携協議会を発足 第1回協議会を6月30日、第2回協議会を12月17日に開催	A	地域医療支援室	A																	
医療ソーシャルワーカーの増員	退院支援など医療福祉相談業務を強化し、患者の在宅復帰への促進を図るため、医療ソーシャルワーカーを増員する。	平成27年度～	医療ソーシャルワーカーの増員	来年度以降の採用計画を検討中	来年度以降の採用計画を関係部署と検討 社会福祉士1名の平成28年4月1日採用を決定（退職補充）	B	病院総務課	B																	
医療安全対策の実施	安心・安全な医療提供	院内のインシデント・アクシデントや院外からの有用な情報などを収集・分析・活用し、医療スタッフへ迅速にフィードバックすることによって、より安心・安全な医療を提供していく。	平成27年度～	医療安全管理委員会の開催	医療安全管理委員会： 5回（8月除く毎月）開催 医療安全カンファレンス： 22回（週1回程度）開催	医療安全管理委員会を年11回（8月除く毎月）開催 医療安全カンファレンスを年38回開催	A	医療安全管理室	A																
	患者の安全確保	患者の安全確保のために、医療スタッフ個人レベルでの事故防止、組織全体としてシステム改善に取り組んでいく。また、医療安全指針やマニュアルについて、定期的に見直しを図っていく。	平成27年度～	医療安全指針やマニュアルの見直し	医療安全管理指針、医療安全管理マニュアル等について、法改正等を踏まえて見直し、改訂作業の実施	医療安全管理指針、マニュアル等について、法改正等を踏まえ見直し及び改訂作業を実施	A	医療安全管理室	A																
	医療安全に関する研修会の開催	医療安全に関する研修会を定期的に開催し、職員の医療安全に対する意識をさらに高めていく。	平成27年度～	医療安全研修会の開催	全職種対象：2回開催 新人職員対象：7回開催 全看護師対象：1回開催 ※年度末まで計画的に開催予定	全職種対象：4回開催 新人職員対象：10回開催 全看護師対象：3回開催	A	医療安全管理室	A																
	院内感染防止対策の実施	院内感染防止対策の推進 様々な職種の職員で組織するチーム（ICT：感染制御チーム）で、臨床、施設設備など院内の環境チェックや感染防止対策の実施状況の確認などを行い、組織全体で情報の共有化を図り、院内感染防止対策を推進していく。	平成27年度～	委員会の実施 ICTによる院内巡回	委員会・・・月1回（6回開催） ICT巡回・・・5チームが月1回約2部署を巡回（57部署巡回済）	委員会・・・月1回（12回開催） ICT巡回・・・5チームが月1回約2部署を巡回（107部署巡回済）	A	院内感染防止対策室	A																

取組分類	取組項目	計画内容	実施年度	平成27年度 目標	平成27年度 取組状況（中間）	平成27年度 取組結果	内部 評価	実施課	外部 評価	コメント
	全職員を対象とした感染防止対策に関する研修会の開催	全職員を対象に、地域の医療関係者も招いて毎年研修会を開催し、院内感染防止対策の基本的考え方や最新の具体的方策について共に学び、地域全体として安全な医療を提供できるよう、院内感染の防止に努めていく。	平成27年度～	感染防止対策研修会の開催	年3回の研修会を予定 第1回を5月に開催済 第2回を10月に開催済 第3回を2月から3月に予定	年3回の研修会を実施 第1回 5月 第2回 10月 第3回 3月	A	院内感染防止対策室	A	
	災害拠点病院としての医療体制の充実	DMA T（災害派遣医療チーム）の登録	～平成30年度	登録追加の検討	新規メンバー及び研修への参加を検討	2名の職員（医師、看護師）がDMA T隊員養成研修を27年12月に受講し、新規隊員登録を完了	A	病院総務課	A	
	市民と協働での地域防災訓練の実施	市民と協働での地域防災訓練や市民への啓発活動を実施することで、発災時の自助・共助・互助の精神を養う。	平成27年度～	地域防災訓練の実施	地域防災訓練を実施予定（12月6日） 「地域で取り組む災害医療 PART1」と題した市民健康講座を実施予定（11月7日）	静岡市が12月6日に実施した地域防災訓練に参加し、医療救護本部との通信訓練等とともに、地元自主防災組織が行った搬送訓練に対応 11月7日に「地域で取り組む災害医療PART1」と題した市民健康講座を清水区役所「清水ふれあいホール」にて開催（入場者：137名）	A	病院総務課	A	
	災害発生時の再生の整備	災害発生時において診療対応が可能となるよう、3日分程度の燃料を確保し、自家発電機で電力供給ができる体制を整備する。	～平成30年度	整備内容の検討	燃料3日分程度確保の方法について平成27年度末までに具体案を策定し、平成30年度までに整備	平成27年度末までに具体案を検討、平成28年度以降、発災時の対応を含めた総合的な検討を実施	B	病院施設課	B	既に他の設備のものも合わせて3日間の対応がとれる状況となっていることから、そのことをアピールしつつ、様々なケースに対応できるように計画を立ててもらいたい。
患者満足度の向上	患者さんによる医療サービスに対する評価、要望の把握	患者さんによる当院の医療サービスに対する評価、要望を把握し、患者サービスの向上及び経営の改善を図る。	平成27年度～	アンケート調査の実施	H27.11月～12月 患者満足度調査実施予定	入院 H27.11.24～12.28 外来 H27.11.30～12.4 入院配布 800人 回収291人 外来配布 550人 回収460人 評価（5点満点） 入院 H27.4.30点 H26.4.26点 外来 H27.4.16点 H26.4.08点	A	医事課	A	
医療情報の発信	市民健康講座の開催	市立の公的病院として、市民を対象とした健康や疾病予防等に関する講座開催などを通じて、正しい医療情報の発信と普及を図り、市民に身近な病院を目指す。	平成27年度～	市民健康講座の開催	第1回市民健康講座『認知症を知ろう』を開催（7月25日） 「地域で取り組む災害医療 PART1」と題した市民健康講座を実施予定（11月7日）	第1回市民健康講座「認知症を知ろう」を開催（7月25日） 第2回市民健康講座「地域で取り組む災害医療 PART1」を開催（11月7日）（再掲） 第3回市民健康講座「頻度の高い整形外科の病気」を開催（2月20日）	A	医事課 病院総務課	A	
【第四の柱】 「病院施設の維持と機能向上」	病棟の改修	施設改修による入院環境の改善	経年劣化による漏水等の事故が発生しており、病棟の給排水設備の改修が急務となっている。そのため、一病棟を休床しながら計画的に順次病棟改修を行っていく。あわせて、病棟の内装を更新し、入院環境の改善による患者サービスの向上を図る。	平成27年度～	実施設計委託の実施 1病棟の改修	病棟改修実施設計委託業務 4A病棟改修着手 11月中旬完了予定	A	病院施設課	A	
	施設の長寿命化	予防保全による老朽化対策で、無停電電源装置（CVCF）・外壁・屋上防水の改修等を行い、建物の長寿命化を図る。	平成27年度～	無停電電源装置の改修	無停電電源装置改修着手 3月完成予定	平成27年度（H28.3）末に完了	A	病院施設課	A	
	駐車場の確保と整備	駐車場の確保と整備	利用者の利便性を図るため、第一駐車場の拡充及び第二駐車場の拡幅整備を検討・実施する。	～平成30年度	駐車場拡幅整備の検討	第一駐車場 次年度以降整備予定 第二駐車場拡幅整備完了 平成27年度 10月拡幅整備完了	A	病院施設課	A	広がって便利になった。また、駐車場の係員の対応も好感が持てる。

取組分類	取組項目	計画内容	実施年度	平成27年度 目標	平成27年度 取組状況（中間）	平成27年度 取組結果	内部 評価	実施課	外部 評価	コメント
【第五の柱】 「収支の改善」	医療スタッフの人材確保（再掲）	常勤医師の増員	平成27年度～	（再掲） 常勤医3名増員	（再掲） 集中治療室稼働にあわせ常勤医1名の増員	（再掲） 集中治療室稼働にあわせ常勤医1名増員	B	病院総務課	B	
		リハビリテーションスタッフの増員	平成27年度～	（再掲） リハビリスタッフ6名増員	（再掲） リハビリスタッフ6名確保 リハビリ強化のため引き続き理学療法士、作業療法士の採用試験を実施（10月17日）	（再掲） 平成26年度の採用試験にて平成27年4月1日付で6名を採用 平成28年度以降の増員計画を新たに策定し、平成27年度実施の採用試験にて平成28年4月1日採用者を3名確保	A	病院総務課	A	
		薬剤師の増員	平成27年度～	（再掲） 病棟薬剤師5名の配置	（再掲） 採用試験を3回実施し、平成28年4月1日採用予定者を3名確保	（再掲） 平成26年度中の採用試験にて平成27年4月1日付で2名を採用（退職補充により病棟配置なし） 平成27年度中に採用試験を5回実施し、平成28年4月1日採用者を3名確保	B	病院総務課	B	
	病床機能の再編（再掲）	病棟専従者の配置	平成27年度～	（再掲） 集中治療室開設	（再掲） H27.4月より集中治療室開設	（再掲） 平成27年4月より集中治療室6床を開設 集中治療室診療収入 114,865千円	A	病院総務課	A	
		病棟の機能分化及び連携	平成27年度～	（再掲） 地域包括ケア病棟の新設	（再掲） 4B病棟35床を地域包括ケア病棟として開設	（再掲） 平成27年4月より4B病棟35床を地域包括ケア病棟として開設 地域包括ケア病棟診療収入 273,627千円 リハビリスタッフ増員による診療収入 約40,000千円	A	医事課	A	
		他の医療機関からの受入	平成27年度～	（再掲） 紹介率の向上	（再掲） 紹介率53.5% 逆紹介率85.7% (H27年8月末現在)	（再掲） 平成27年4月より開設 集中治療室利用率 57.1%	A	医事課	A	
	高度医療機器の計画的整備（再掲）	医療機器の更新・増設	平成27年度～	（再掲） ガンマカメラ・教育研修機器の購入	（再掲） ガンマカメラについては、契約を締結 教育研修機器については、順次購入 手続を進めており、平成28年1月までに納入の予定	（再掲） ガンマカメラ・教育研修機器（トレーニングマネキン、除細動器等）とも、平成28年3月までに整備完了	A	病院施設課	A	地域の拠点病院として、今後も最先端のものを整備して行ってみたい。
	材料費の削減	実態の把握と使用ルールの徹底	平成27年度～	材料費の削減	各診療科ごとの使用実績を分析しコスト削減を検討	各診療科ごとの使用実績を分析し、在庫定数見直し等の削減策を実施	B	病院施設課	B	
		後発医薬品の採用の推進	平成27年度～	後発医薬品の採用	変更可能な後発医薬品について、順次、薬事委員会で審議し、採用	変更可能な後発医薬品について、順次、薬事委員会で審議し、採用 【後発医薬品置換率】 H26：69.1% H27：85.2% 【効果額】 11,495千円	A	病院施設課	A	
	SPD導入の適否の検討	平成27年度～	SPD導入の適否の検討	SPDの内容や、他病院の状況、事例について、調査中	引き続き調査・検討中	B	病院施設課	B		

取組分類	取組項目	計画内容	実施年度	平成27年度 目標	平成27年度 取組状況（中間）	平成27年度 取組結果	内部 評価	実施課	外部 評価	コメント												
未収金対策の強化	収納率の向上	徴収員や徴収委託会社による滞納抑制を図るとともに、新たな収納案内や収納方法の導入により、患者サービスの向上と収納率向上を図る。	平成27年度～	収納率	月に2日程度、夜間電話催告の実施	定期的な夜間電話催告のほか、H27.10月～12月を滞納整理強化月間として実施し結果991,781円を回収 <table border="1"> <tr> <td>収納率</td> <td>現年</td> <td>滞線</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>99.04%</td> <td>9.16%</td> </tr> <tr> <td>H27実績</td> <td>98.89%</td> <td>9.31%</td> </tr> <tr> <td>H26実績</td> <td>98.92%</td> <td>9.85%</td> </tr> </table>	収納率	現年	滞線	目標	99.04%	9.16%	H27実績	98.89%	9.31%	H26実績	98.92%	9.85%	B	医事課	B	
	収納率	現年	滞線																			
	目標	99.04%	9.16%																			
	H27実績	98.89%	9.31%																			
H26実績	98.92%	9.85%																				
適正な診療報酬の請求 （プロパー職員の育成）	診療報酬算定項目の確認	診療報酬上算定可能な項目のシステムチェックや対象リストによる確認等を実施し増収を図る。	平成27年度～	保険委員会による チェックの実施	院内多職種による保険委員会を毎月開催し、ケーススタディを実施	毎月1回（各月第4火曜日）保険委員会を開催（12回）	A	医事課	A													
	業務に精通したプロパー職員の採用の検討	医事担当職員は高度な専門的な知識や医師との情報共有が求められるため、業務に専任可能で精通したプロパー職員の採用を検討する。	平成27年度～	プロパー職員の採用の検討	診療情報管理士の採用試験を7月15日に実施し、採用予定者1名を確保	7月15日に採用試験を実施し、平成28年4月1日採用者1名を確保	A	病院総務課	A													
その他		月次での原価計算及び経営分析を行い、医療現場へ迅速なフィードバックと早急な経営改善等への対応を図る。	平成27年度～	原価計算及び経営分析の実施	原価計算データ分析中	原価計算及び経営分析を行い、院内で情報共有を図った本内容を踏まえた経営状況を取りまとめ、平成28年3月に市長へ報告を実施	A	病院総務課 医事課	A													
		病院の管理する資金について、安全性や流動性を確保しつつ、可能な限り定期預金や債券購入等により効率的な資金運用を行う。	平成27年度～	資金運用の実施	引合による資金運用を行った	入札形式による資金運用を実施	A	病院総務課	A													

収支改善目標

(1) 医療スタッフの増員目標

(単位：人)

	H27計画	H27実績
医師	3	1
薬剤師	5	1
リハビリテーション	6	6

(2) 入院収益の目標 (病棟別)

①一般病棟

指標	年度	H27計画	H27実績
病床数		390	390
病床利用率 (%)		81.0	67.3
年間患者数		115,600	96,029
入院単価 (円)		51,000	53,353
診療収入 (千円)		5,895,600	5,123,480

(341)
(76.9)

※右欄外括弧内の数字は実質稼働数と実質病床利用率

②集中治療病棟

指標	年度	H27計画	H27実績
病床数		6	6
病床利用率 (%)		70.0	57.1
年間患者数		1,540	1254
入院単価 (円)		65,900	91,599
診療収入 (千円)		101,486	114,865

③回復期リハビリテーション病棟

指標	年度	H27計画	H27実績
病床数		44	44
病床利用率 (%)		88.0	82.2
年間患者数		14,200	13,236
入院単価 (円)		28,500	27,435
診療収入 (千円)		404,700	363,123

④地域包括ケア病棟

指標	年度	H27計画	H27実績
病床数		35	35
病床利用率 (%)		55.0	66.3
年間患者数		7,000	8,496
入院単価 (円)		28,600	32,207
診療収入 (千円)		200,200	273,627

(3) 外来収益の目標

指標	年度	H27計画	H27実績
診療日数 (日)		243	243
外来患者数 (人)		199,300	188,500
外来単価 (円)		11,800	14,974
診療収入 (千円)		2,351,740	2,822,598

(12,222)
(2,303,899)

※右欄外括弧内の数字はC型肝炎新薬の影響額を除いた数字

(4) 材料費の目標

指標	年度	H27計画	H27実績
材料費率		21.8	27.5
薬品比率		13.4	18.8
診療材料比率		8.3	8.6

(24.0)
(14.7)
(9.1)

※右欄外括弧内の数字はC型肝炎新薬の影響額を除いた数字

(5) 紹介率・逆紹介率

指標	年度	H27計画	H27実績
紹介率 (%)		51.0	54.1
逆紹介率 (%)		87.0	87.2